



2022 年 2 月 17 日
東日本旅客鉄道株式会社

「リアルタイム経路検索」機能の提供先事業者の拡大について

- 東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長 深澤 祐二／以下「JR 東日本」）では、「JR 東日本アプリ」において、主要路線の列車の遅れを反映した経路検索「リアルタイム経路検索」の実証実験を行うとともに、他の交通事業者（鉄道・バス）とも連携し、検索対象範囲を拡大してまいりました。
- このたび、日本航空株式会社（東京都品川区、代表取締役社長：赤坂 祐二、以下「JAL」）がサービスを開始した「JAL MaaS」に、JR 東日本の「リアルタイム経路検索」機能を新たに提供いたします。これにより、JAL グループの国内線と JR 東日本の主要路線などの運行状況を組み合わせ、タイムリーな経路検索が可能となり、空の旅を軸としたリアルタイムの移動のサポートを実現します。
- 今後も各交通事業者との連携を拡大し、グループ経営ビジョン「変革 2027」で掲げた「シームレスな移動」の実現と、お客さまにご利用いただきやすい公共交通機関を目指します。

1. 新たな提供先事業者

新たに「リアルタイム経路検索」機能を提供する交通事業者は次の通りです。

事業者	開始時期	内容
JAL	2022 年 2 月 17 日	「JAL MaaS」への提供

これにより、JAL グループの国内線と JR 東日本の主要路線などの運行状況を組み合わせた経路検索を提供できるようになります。なお、リアルタイム経路検索は JAL グループの国内線のみを対象とし、JAL MaaS 上での経路検索時に限ります。経路検索はコードシェア・JAL 連結子会社便を含む JAL グループの国内線を対象とします。

※「リアルタイム経路検索」（商標登録出願中）

列車に遅れが発生した際、その遅れを加味した検索結果を表示するものです。（列車の運休および一部の臨時列車には対応していません。）

これにより、お客さまは最新の運行情報をもとに最適な経路を選んで移動することができます。

2. 今後の連携・提供先拡大

JAL と JR 東日本は、2021 年 3 月 29 日に MaaS の推進・社会実装に向け、連携して取り組むことに合意しています。今後もさらなる連携を進めてまいります。

また、「リアルタイム経路検索」機能については、交通事業者以外にも含めた多くの事業者などに幅広く提供先を拡大してまいります。

【参考1】JAL MaaS でのご利用イメージ

- ①「JAL MaaS」で、ご希望の便名を指定後、出発地→出発空港→到着空港→目的地までの経路検索を実施します。
- ②検索結果に、ご希望の便の運航情報のほか列車の遅れも反映されます。
※検索経路にリアルタイム経路検索対象路線（【参考2】参照）が含まれている場合に限られます。



【参考2】JAL MaaS におけるリアルタイム経路検索対象路線（2022年2月17日時点）

■JR 東日本・新幹線

東北新幹線、上越新幹線、北陸新幹線、山形新幹線、秋田新幹線

■JR 東日本・在来線

東海道線、横須賀線・総武快速線、湘南新宿ライン、京浜東北線・根岸線、横浜線・根岸線、南武線、山手線、中央本線、中央線快速電車、中央・総武線各駅停車、青梅線、五日市線、宇都宮線、高崎線、埼京線・川越線、常磐線快速電車/常磐線（上野～水戸）、常磐線各駅停車、京葉線、武蔵野線、上野東京ライン、八高線、伊東線、篠ノ井線、奥羽本線、仙山線、仙石線、東北本線、田沢湖線

■JR 東日本以外の路線

小田急電鉄（全線）、相模鉄道（全線）、京王電鉄（全線）、京王電鉄バス、西東京バス

【参考 3】MaaS に関する JR 東日本の取り組み

グループ経営ビジョン「変革 2027」において、移動のための検索・手配・決済をお客さまにオールインワンで提供する「モビリティ・リンケージ・プラットフォーム」を構築し、「シームレスな移動」「総移動時間の短縮」「ストレスフリーな移動」の実現を目指しています。

これにより、お客さまが 24 時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組み合わせるサービスを利用できる環境を実現します。

